

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
中国労働金庫本店 新築工事

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.7
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		4.2	0.15	-	-			4.2
1.1 騒音		4.0	0.40	-	-			
1.1.1 暗騒音レベル	暗騒音レベル<40を目標とする。	4.0	1.00	3.0	-			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		4.6	0.40	-	-			
1.2.1 開口部遮音性能	T-2仕様	5.0	0.60	5.0	-			
1.2.2 界壁遮音性能	Dr42相当	4.0	0.40	4.0	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	4.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音	床:タイルカーペット、天井:ロックウール化粧吸音板	4.0	0.20	1.0	-			
2 温熱環境		3.2	0.35	-	-			3.2
2.1 室温制御		3.5	0.50	-	-			
2.1.1 室温設定		3.0	0.38	-	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能	窓:Sc=0.16、U=1.9、外壁:U=0.8、屋根:U=0.7	5.0	0.25	-	-			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		4.0	0.25	-	-			4.0
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-			
3.1.1 昼光率	2.6%	5.0	0.60	5.0	-			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	4.0	-			
3.3 照度		4.0	0.15	-	-			
3.3.1 照度	882Lx	4.0	1.00	-	-			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御	照明制御システムあり	5.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
4.1.1 化学汚染物質	内装材は全てF☆☆☆☆の材料	4.0	1.00	4.0	-			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
4.2.1 換気量		3.0	0.33	4.0	-			
4.2.2 自然換気性能		3.0	0.33	5.0	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	1.0	-			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	3、10、12階に喫煙室	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.7
1 機能性		3.7	0.40	-	-			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40	-	-			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	5.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画	「広島県福祉の町づくり条例」適用	4.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-			
1.2.1 広さ感・景観	CH=2.75m	4.0	0.33	3.0	-			
1.2.2 リフレッシュスペース	各階にリフレッシュスペースあり、自動販売機設置	5.0	0.33	-	-			
1.2.3 内装計画	4項目に該当	5.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	トイレ壁は不燃化粧板、床ビニルシート、外壁ガラスカーテンウォール、防鳥ネット等	4.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.9	0.31	-	-			3.9
2.1 耐震・免震		4.2	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性	36%増の耐震性	4.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能	積層ゴム免震	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上B以上を使用、Eを不使用	5.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			4.6	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	空調機は電気・ガスの2種類、系統の分離、耐震措置	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用、系統の分離、雨水・雑用水の利用	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	非常用発電機・無停電電源設備、地下への設置なし	5.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、地下への設置なし	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高3.9m	5.0	0.60	4.0	-	-
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		外壁は主にガラスカーテンウォールで圧迫感を軽減、都市美協議書参照	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	メインアプローチ(プラザ)、エントランスギャラリー、ITV設備、駐車場届出等	5.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制		カーテンウォールはダブルスキン、高性能断熱材を使用	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備	4.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=42.5	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
4.1	モニタリング	システム概要添付	5.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	基本方針が計画されている。	4.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水型水栓を採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.6	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	有り	4.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63	-	-	4.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭・基礎のコンクリートに高炉セメント使用	4.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用、ビニル床シート、OAフロアー	5.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材、OAフロアー	5.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-	3.5
3.1	有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	-
1	消火剤	ハロン消火材の使用なし	4.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=65%	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.3	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3	交通負荷抑制	自転車置場29台、駐車台数62台、設置届提出	5.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	ごみ置場設置、分別回収、ビン・カン等の減量化等	5.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たしている、広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-